

宍粟市千種地域における ちくさええとこバス事業について

宍粟市千種市民局まちづくり推進課



A photograph of a forest floor. In the foreground, there are numerous pink flowers with green leaves growing in a mossy area. In the background, there are several tall, thin tree trunks and a low stone wall covered in moss.

contents

01

千種地域の概要

02

千種地域における公共交通

03

ちくさええとこ協議会

04

実証運行

05

本格運行

06

ちくさええとこバスのこれから

01 千種地域の概要

人口

2,244人（高齢化率 約**50%**）

※住民基本台帳(R8.6月末)より

位置

兵庫県北西部、標高600mから1300m級の山々に囲まれている
鳥取県、岡山県の県境に位置する

面積

104.57km²

アクセス

中国自動車道「山崎IC」から40分
JR新宮駅からバスを乗り継いで1時間30分

歴史

古来から明治中期に至るまでたたら製鉄の里として知られ、繁栄してきた
平成17年に旧宍粟郡山崎町、一宮町、波賀町と合併し、「宍粟市」となった
今年6月に日本テレビ、鉄腕！DASH！！の「100人食堂」のロケ地となり、注目を浴びる！



02 千種地域における公共交通 ※R7.1時点

1

鉄道・タクシーなし バスのみ

都市部では生活の基盤となる「鉄道」が存在しない
町内にはタクシー事業者がなく、バスは「唯一のライフライン」

2

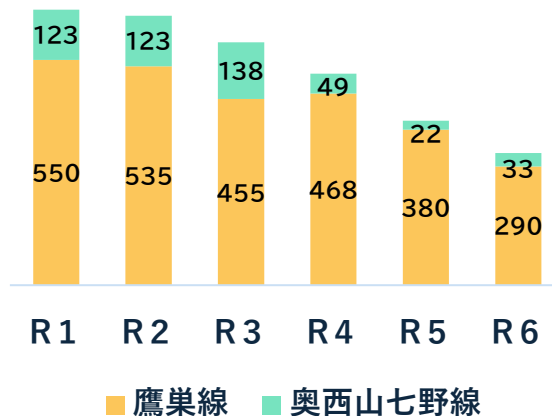
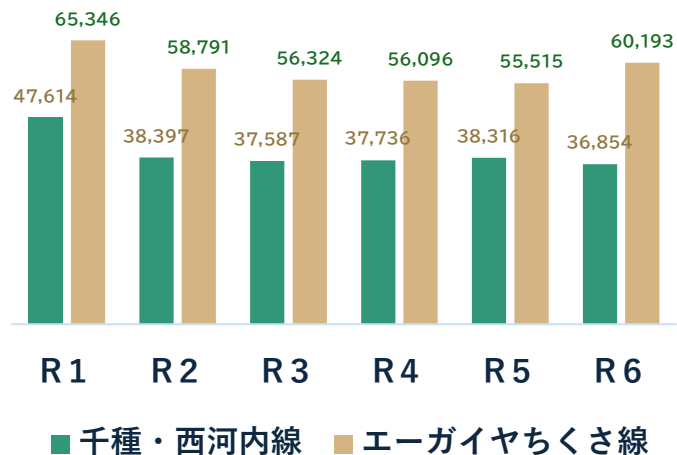
大型バス (幹線)

山崎から三河を経由する線と国道29号を経由する2線運行
町内の県立千種高校の通学手段として利用している
コロナ禍で一時乗車数が減少したが回復傾向である

3

小型バス (支線)

千種地域の東エリアを運行する「鷹巣線」と西エリアを運行する「奥西山七野線」の2路線運行
医療機関の受診や、エーガイヤちくさ(レストラン・風呂)を目的として利用している



R7-1

令和7年1月公共交通会議にて、バス事業者から大幅な見直し提案

令和7年10月以降小型バス(支線)の週4日運行を週1日へ、いずれは廃止へ

待ったなしの危機的状況が...

03 ちくさええとこ協議会 ～立ち上がった地域運営組織(RMO)～

ちくさええとこ 協議会とは

地域運営組織(RMO) 令和7年2月に設立

従来の**行政主導型ではなく**、地域住民が主体となって「地域の将来ビジョン」を考える

決めた計画に対して、行政から財政支援や人的サポートを受けながら活動する

『自分たちのことは、自分たちでやろう』

代替交通の 検討を開始

誰が？どのようにして？

社会福祉法人千種会の協力

(特別養護老人ホームちくさの郷)

デイサービスの経験と車両の有効活用

地域貢献したいという強い思いから

運転業務を引き受ける

住民アンケート

令和2年12月から令和3年1月に実施

配布数2,087件 回収数1,937件

中学生以上の町民を対象 回収率**92.8%**

暮らしの中の困りごと

・・・獣害対策・買い物をする場所・健康面・

移動手段

運行計画の作成

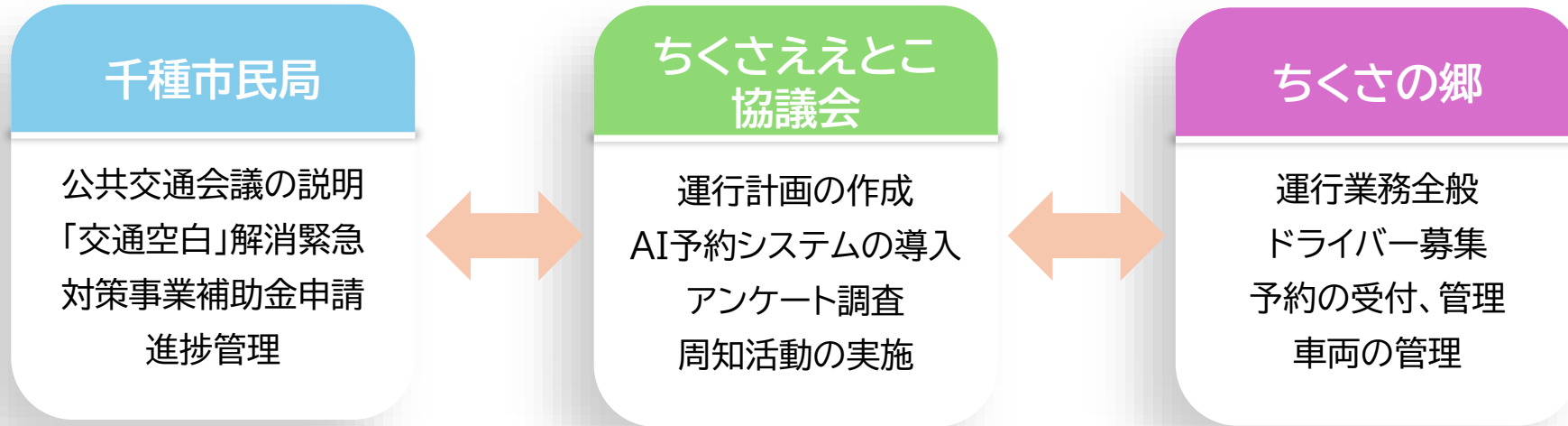
定時定路線？デマンド型？

これまでの小型バスのことや地形のことも踏まえて

利便性を重視し、**デマンド型乗合バス**の運行計画作成

実証運行について地域公共交通会議で報告

04 実証運行 ① 運行計画と3者の役割分担



ポイント!!
ちくさええとこ協議会を中心
に地域が自ら作り上げる

市は伴走支援に徹底

ちくさええとこバス運営会議

令和7年9月26日(金)から令和8年1月31日(土)まで
※水・土・日・祝日・12/29～1/3は運休
4人乗り(軽自動車)、7人乗り、10人乗り(普通自動車) 計3台
利用方法:電話予約かWEB予約(60分前まで予約可能)
※現行の小型バス同様週4日運行
狭い道や予約多数に対応するために3台体制



04 実証運行 ② 「交通空白」解消緊急対策事業の補助金活用

「交通空白」解消緊急対策事業 2次公募

補助金の概要

「交通空白」の課題がある地域において、「公共ライドシェア」や「AIデマンド」、「乗合タクシー」等の「交通空白」の解消に向けたサービスを実施するための仕組みの構築を支援する事業

補助対象経費

- ①事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会・説明会等開催に要する費用
- ②サービス提供のために必要となる車両の導入、配車アプリ・運行管理等のシステム開発・導入、運転手募集等に要する経費
- ③実証事業に要する費用

補助金額

500万円まで定額、
500万円を超える部分は2/3(上限1億円)

AI予約システム「TAKUZO」の導入

株式会社バイタルリード(島根県出雲市)

TAKUZOとは？

AIが自動でデマンドバスの配車ルートを組み
む乗合型のデマンド交通システム

**「そこそこ便利」な移動を、地域で持続可能
に提供する**

一般的な配車アプリ「1人を早く送る」ことをめざすが、TAKUZOは「できるだけ多くの人を、できるだけ少ない車で届ける」こと

「即時配車」＝個人最優先

※今すぐ来て、すぐ行く

「TAKUZO」＝地域最優先

※みんなの移動を、みんなで効率よく成立させる



04 実証運行 ③ 周知活動の実施

市広報紙
令和7年10月号



ちくさえとこバス実証運行スタート
「地域にとってかけがえのない移動手段に」

小型バスの減便や廃止が検討される中、千種町の新たな移動手段として「ちくさええとこバス」の実証運行が9月26日に始まり、同日にはライブリー・ちくさでオープニングセレモニーが行われました。このバスは千種町内であればどこからでも乗車可能な乗合交通で、前日の16時までに電話予約すれば利用できます。今後はAI運行システムも導入予定。ちくさええとこ協議会の田住学会長は「地域の皆さんにとってかけがえのない移動手段になることを願う」とあいさつ。利用者は「予約した時間に来てくれるので、便利な交通手段になると期待している」と話しました。

ええとこバス

実証運行を実施します!!

○ええとこバスとは？

利用者の目的地・目的地を乗客、入居者システムにより自動的に検索されたルートに沿って、目的地まで実証運行いたします。
 乗客の乗降は専用設備に乗りかえり遠征まで、さらに乗客の乗降は専用設備に乗りかえり遠征まで、さらに乗客の乗降は専用設備に乗りかえり遠征まで。

月 火 水 金

祝日下達線

実証運行開始

2015年9月26日

2016年1月31日

ええとこバスを利用するには、事前登録が必要です

※10月9日頃～、システムテストを予定入ります。

利用方法

●乗客 電話で予約する！

乗客の目的地・目的地を乗客、入居者システムにより自動的に検索されたルートに沿って、目的地まで実証運行いたします。

●乗客 確認の電話を受ける！

予約を確認してもらった後、乗客確認の電話がかけられます。

●乗客 迎えの車庫に集まって移動！

予定時間に乗客（又は指定乗客）で乗車いたします。

●乗客 目的地に到着！

乗客の目的地に到着したら、乗客確認の電話がかけられます。



乗客は電話にて予約
乗客の目的地・目的地を乗客、入居者システムにより自動的に検索されたルートに沿って、目的地まで実証運行いたします。



乗客の確認の電話を受ける！
予約を確認してもらった後、乗客確認の電話がかけられます。



乗客 迎えの車庫に集まって移動！
予定時間に乗客（又は指定乗客）で乗車いたします。

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間

平日：午前8時～午後5時

土・日・祝日：午前8時～午後5時

運行時間（乗客で乗車する時間）：8時～17時

送迎日：水・土・日・祝日 運行エリア：千種町内

ご予約の受付時間</

PRブース設置
ちくさふれあいフェスタ



いきいき体操で説明
西河内自治会



教えて!!

えなとごバス

実証運行期間

2025年07月30日

▼

2026年1月31日

Q. 事業はどどこで行うのですか？
 A: 「ちくえな」とご協議済みです。

Q. 運賃は幾つするのですか？
 A: 「ちくえな」とご協議の運賃を受けて、「ちくえな」の運転手が行う予定です。

Q. 実証運行を始めるのですか？
 A: 2025年4月までの間に、今的小型バスの流渡（週4～週1）または、廃止が行われるためです。

Q. どんな車が登場するのですか？
 A: 自動車3台（4～7人乗り）が、事前に予約を受けて乗り合いタクシーの方式で走ります。

Q. どのときを走るのですか？
 A: 中心部から、各地域（自宅付近も可）まで、まちの中心部の移動手段として使っていただくことを想定しています。

Q. だれでも利用できるのですか？
 A: 車券が必要で、介助が必要な方は、ご利用いただけません。（福祉送迎サービスをご利用ください）一人乗りが困難な方は、付添いの方の同乗をお願いします。（ペット不可）

Q. 料金は幾つするのですか？
 A: 実証運行中（2025年9月26日～2026年1月31日）は無料です。本稼働開始後は、有料となります。（料金未定）

Q. 運行と運行時間は？
 A: 月・火・水・金曜日の概ね8時～17時まで。

Q. 予約はいつまで、どこに行うのですか？
 A: 利用したい日の前日（16時）までに電話で予約してください。「ちくえな」の電話 0799-76-2500まで。予約時には、利用される方の住所・氏名・電話番号・人数、利用したい日時・乗降場所、大きな荷物の有無などもお伝えください。

神戸新聞記事
10月27日



9月末から試験運行を始めた「ちくさえとこバス」
三栄市千種町千草、ライプリーちくさ

人工知能（AI）を活用した予約システムの導入も予定している。

ええとこの協議会会長の田住孝さん（69）は「町民自ら運営する新たな交通手段として、タクシールのような感覚で使ってほしい」と呼ぶ。かける。

予約は乗りだに日の前出午後4時までに、ちくさの郷に電話（☎0790・76・2550）する。

（成 将希）

ひきこもりへの理解深める講座
赤穂で31日
ひきこもりへの理解を
めぐる啓発講座が31日、赤
穂市総合福祉会館(同市中央
)で開かれる。

神戸新聞記事
10月27日

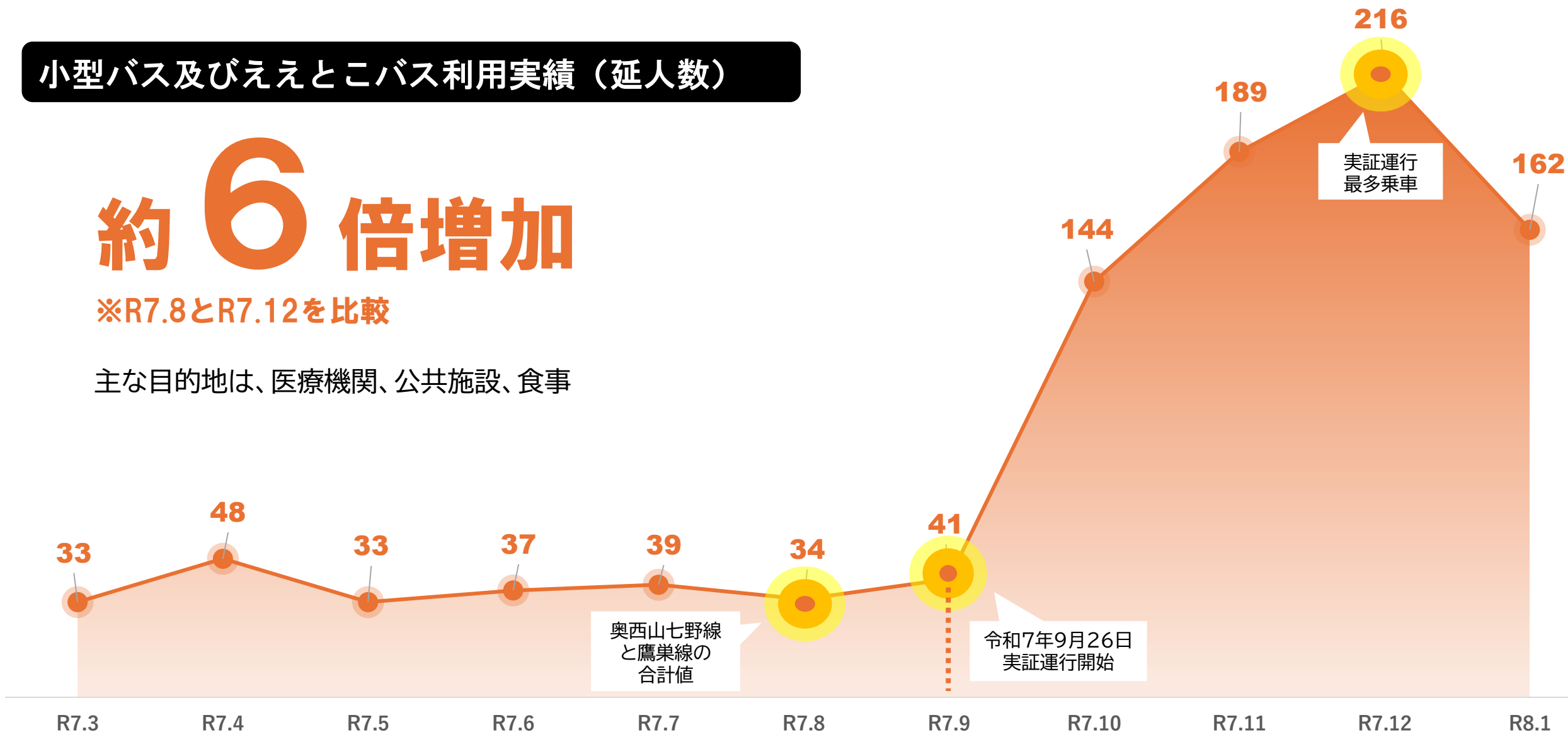
04 実証運行 ④ 周知活動が実を結ぶ

小型バス及びええとこバス利用実績（延人数）

約 6 倍増加

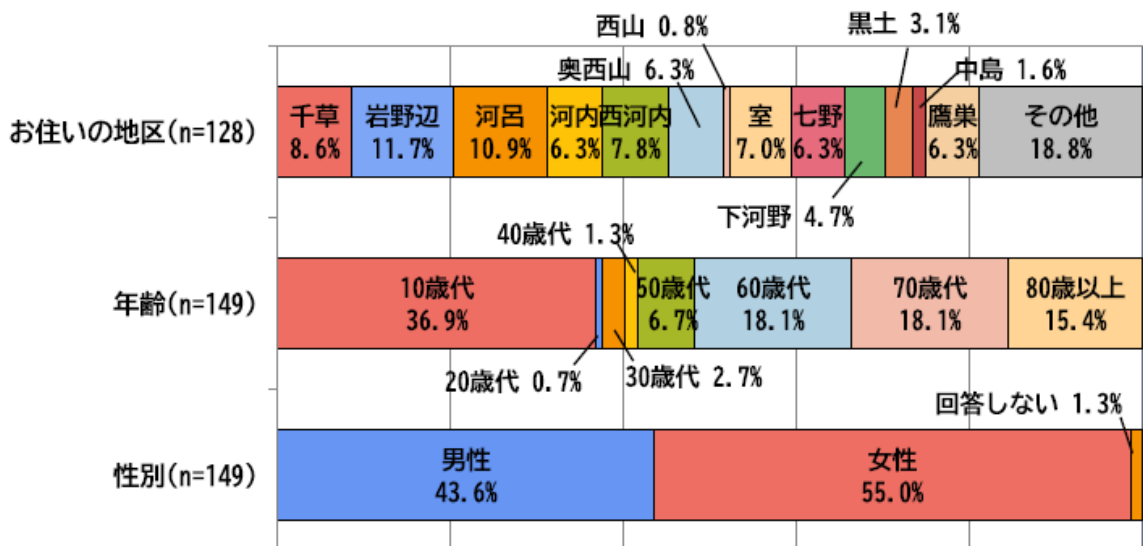
※R7.8とR7.12を比較

主な目的地は、医療機関、公共施設、食事



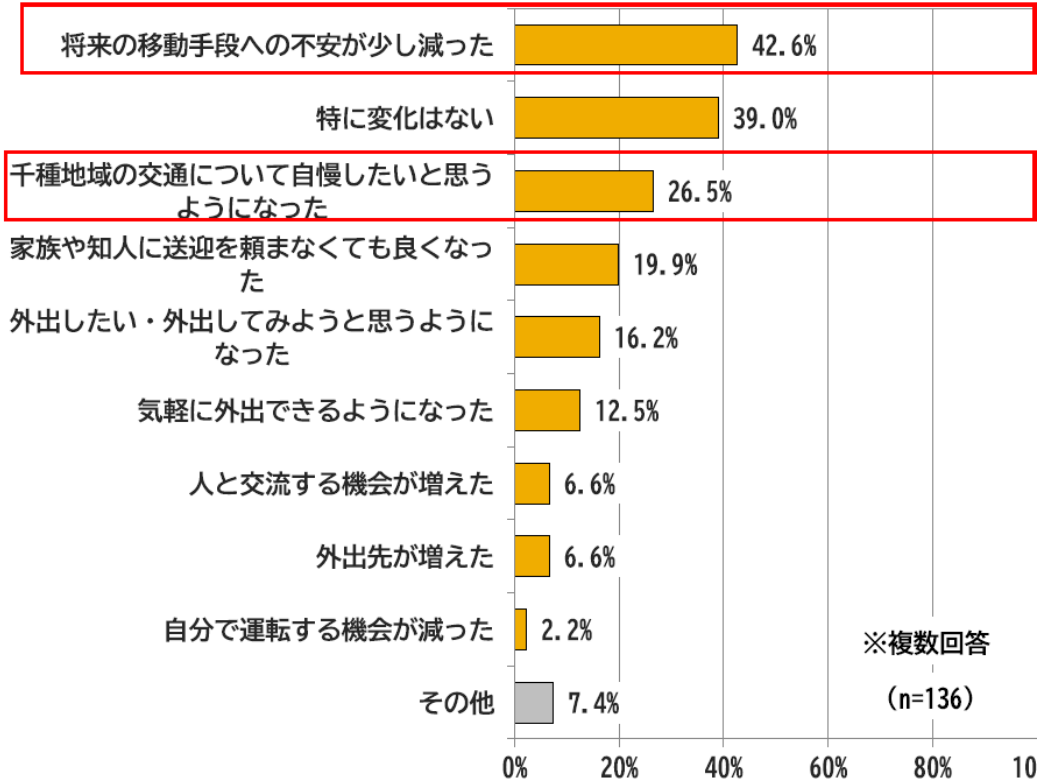
04 実証運行 ⑤ アンケート調査からみえてきたこと

【Q1】あなた自身のことについておたずねします。



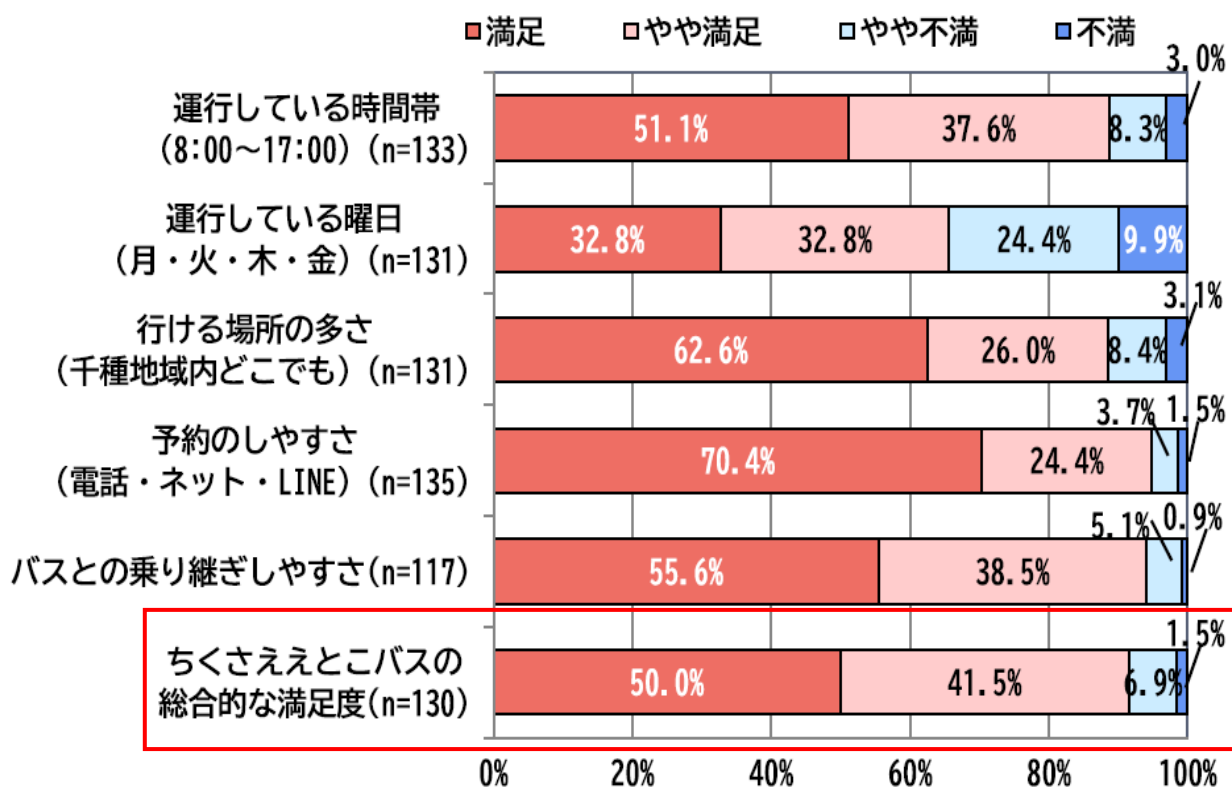
バス利用者、千種高校生及び協議会LINE登録者へのアンケート調査を実施
アンケート回答者で65歳以上が5割、10代が4割となっている

【⑦「ちくさえとこバス」ができて、あなたの気持ちや行動に変化はありましたか。】



「将来の移動手段に対する不安感の軽減」がトップとなり、「千種地域の交通について自慢したいと思うようになった」との回答も高くなった

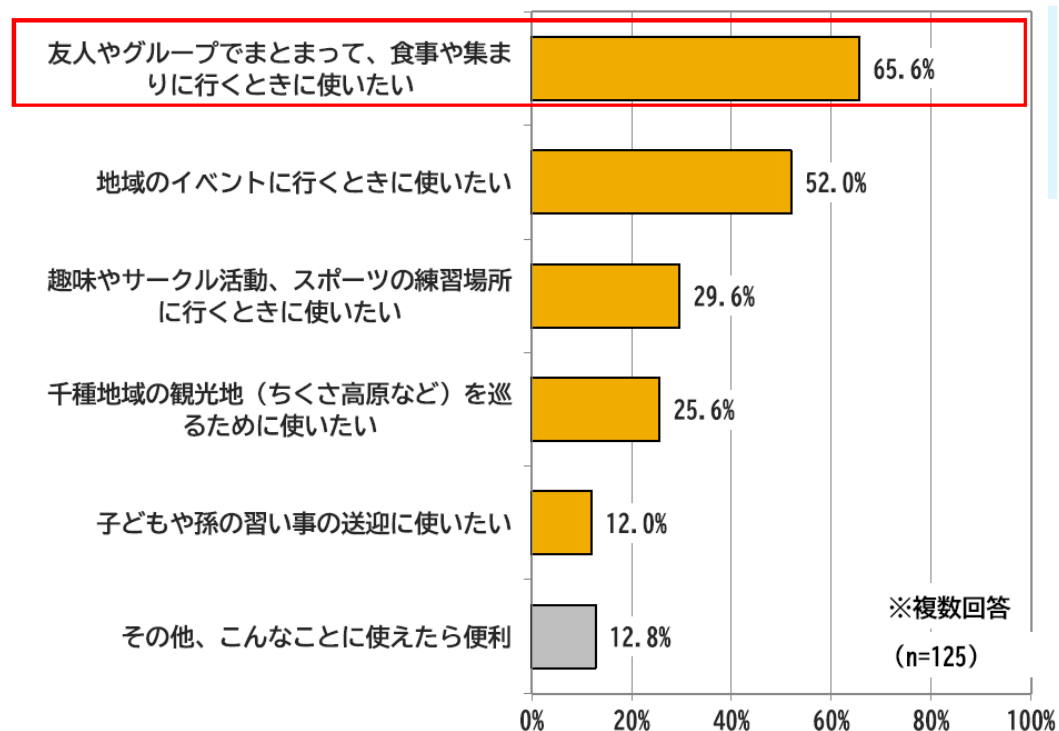
【①サービス内容の満足度】



総合的な満足度では、**9割以上の方が満足**と回答した
 運行曜日については、**水曜日も運行してほしい**という声
 が多くあった

【Q4】「ちくさええとこバス」の今後の活用アイデアについてお聞かせください。

【今後、どのような目的でもっと利用してみたいと思いますか。】



今後の利用目的は、友人との交流時がトップとなり、次いで地域のイベントに行くときに使いたい割合が高くなった

アンケート回答内容 ～まとめ～

1. 「移動の不安解消」による心理的効果

総合満足度は9割を超え、特に自宅まで送迎する「ドア・ツー・ドア」の利便性が高く評価された

特に「将来の移動手段への不安が減った」という回答も多く、単なる移動手段の提供を超え、地域での暮らしの安心感を支える効果が得られた

2. 有償化に向けた価格受容性

1乗車あたりの受容価格帯は、200円～300円程度と考えられる

定額プラン(月額制)は、利用経験者の約4割が前向きな意向を示した

3. デジタルシフトの可能性と課題

回答者のスマホ保有率は9割を超えるが、予約手段は電話が7割を占める

一方でWeb予約も3割活用されており、若年層を中心にデジタル活用の素地はある

今後は高齢者へのスマホ教室等を通じ、利便性の向上や電話話受付の負担軽減を図る余地がある

4. 「生活を支える手段」から「交流を支える手段」

「土日祝日の運行」や「友人との集まりでの利用」を望む声が非常に多い

通院・買い物といった生活する上で最低限の移動だけでなく、高齢者の生きがいづくりや地域コミュニティを活性化させる「楽しみの移動」における潜在需要が高い

今後は外出の目的づくりによる利用促進の検討がポイントになる

5. 総括

本実証運行は、満足度も高く、住民の外出意欲向上に寄与しており順調な滑り出しとなった

今後は、コストや持続可能性、市内交通ネットワークへの影響など、バランスを見ながら料金設定や運行曜日の拡大を検討することなどが必要である

高齢者においては、外出の目的づくりによるさらなる利用促進に加えて、免許返納予備軍や若年層などの未利用者層に対し、具体的な利用体験を促す広報活動の検討が必要である

05 本格運行

～生活を支える手段から交流を支える手段へ～

更に利便性を良くするために
実証運行中に実施した

アンケート調査の意見を反映

自家用有償旅客運送の登録申請
令和8年1月26日登録完了

1乗車あたり

大人 200円
小学生から高校生 100円
障がいのある人 100円
未就学児 無料

運行曜日・ 時間の変更

平日運行
土日祝日、年末年始は運休
8時30分から17時30分
Web予約は24時間可

1ヵ月乗り放題券 の発行

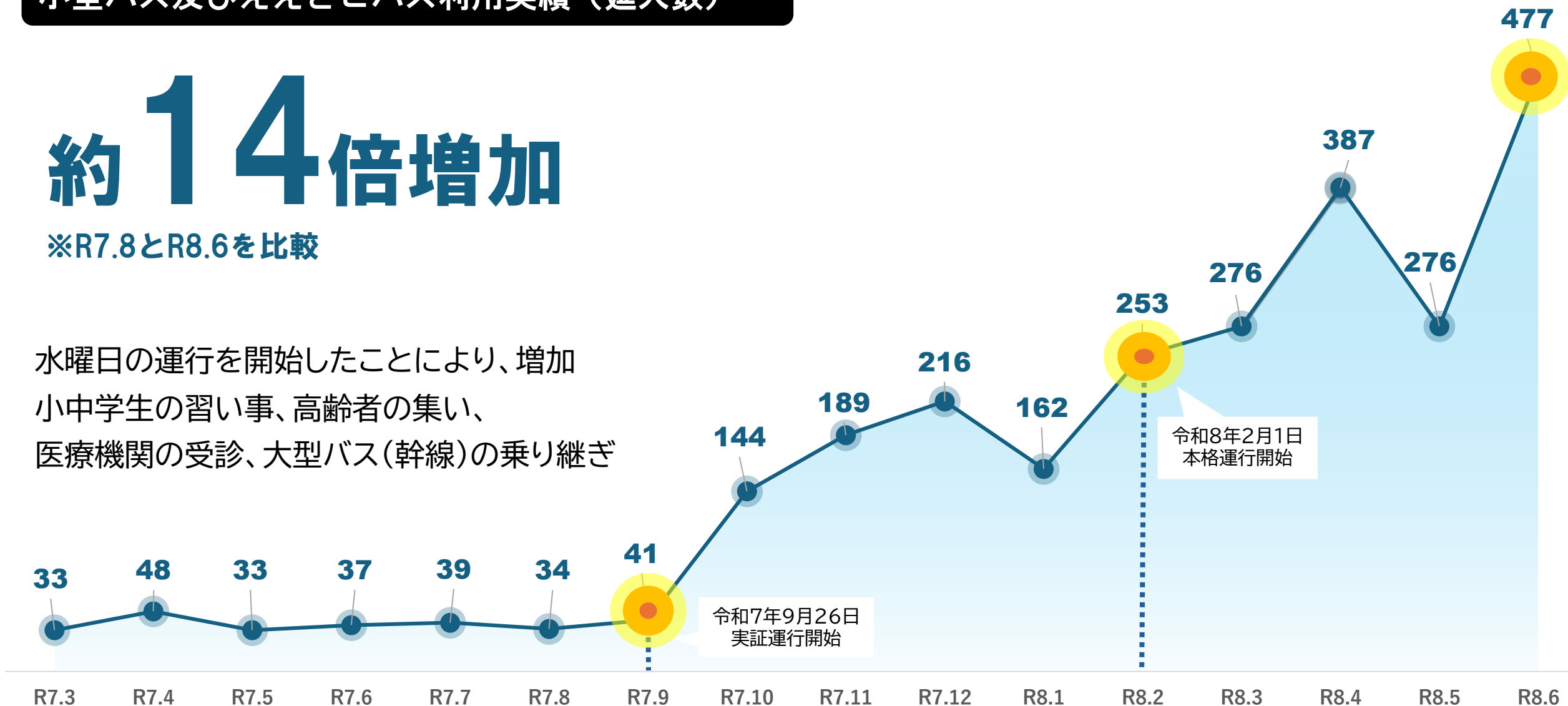
大人 2,000円
小学生から高校生 1,000円
障がいのある人 1,000円

小型バス及びええとこバス利用実績（延人数）

約14倍増加

※R7.8とR8.6を比較

水曜日の運行を開始したことにより、増加
小中学生の習い事、高齢者の集い、
医療機関の受診、大型バス（幹線）の乗り継ぎ



06 ちくさええとこバスのこれから

地域の**多くの人**に喜んでいただくために……

01

SNS等を活用した 周知活動の継続

町内だけでなく、町外に
向けた周知活動を実施
することによって更なる
利用者の増加をめざす

02

土日祝日 運行の検討

アンケート調査で、土日
祝日の運行を望む声があ
った
運行体制や予算と相談
しながら検討する

03

車両のラッピング 予算の確保

運営会議の中で、ラッピ
ングについての意見があ
った
活用できる補助金等が
ないか模索する

ちくさええとこバス誕生までの時系列

R7.01

地域公共交通会議 小型バス大幅な見直し提案



- バス事業者より、大型バス(幹線)及び小型バス(支線)の大幅な減便、廃止の提案を受ける
- 千種地域において代替え交通の検討が必要となる

R7.06

地域公共交通会議 「ちくさええとこバス」 の実証運行について 報告



- 社会福祉法人千種会を含む関係機関との調整
- デマンド乗合交通の実証運行を計画し、地域公共交通会議にて報告する

R8.01

実証運行終了 自家用有償旅客運 送の登録



- 延人数374人乗車
(9/26~1/31 週4日運行(水曜日休))
- 進捗管理の運営会議を定期的に行う
- アンケート調査結果をもとに料金設定

R7.02

地域運営組織 「ちくさええとこ協 議会」設立



- 全住民アンケート(回収率92.8%)
- 「自分たちのことは自分たちでやろう」という機運が高まる
- 公共交通について、急を要する課題として位置づける

R7.09

「交通空白」解消緊急 対策事業の補助金を 活用して実証運行開 始



- 「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プログラムにエントリーし採択される
- AI予約システム(TAKUZO)の導入
- アンケート調査の実施
(11/4~11/20 153件)

R8.02

本格運行開始



- 延人数529人
(2/1~3/31 週5日運行(平日))
- 「生活を支える手段」から「交流を支える手段」へ
- 小学生から高齢者の幅広い年代が利用



ご清聴ありがとうございました！！

